

要請番号 (JL63018B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G158 理科教育		グループ型	交替3代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・人間開発省

2) 配属機関名 (日本語)

シサノ中等教育学校

3) 任地 (ガザ州シサノ市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

シサノ中等教育学校は、8年生から12年生(日本の中学2年生から高校3年生)が通う公立の中等教育学校で、日本の無償資金協力により8教室が増設され、多目的教室棟、管理棟、便所棟、屋根付き運動場も建設された(2011年完工)。全校生徒数約2500名、12教室。生徒数が多いため、3部制(午前:7:00から12:00、午後:12:30から17:30、夜間:17:45から19:20)で生徒を入れ替えて授業を行っている。2018年6月現在、青年海外協力隊(JV)理科教育が物理の授業を担当している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モザンビーク政府は、「中等教育戦略計画2012年～2016年」を策定し、中等教育のアクセス拡大並びに教育の質の向上に取り組んできた。しかしながら、現在も増加する生徒数に対し教員数不足や教室数不足、教育の質の問題を抱えており、同計画を「2016年 - 2019年」に延長し、改善に取り組んでいる。ガザ州においては、2013年よりJVグループ派遣「ガザ州中等教育理数科教育の質の向上」を開始し、理数科教育の質の向上を支援している。2018年6月現在、5名のJV(理科教育・数学教育)が活動中。本配属先においては、2017年8月より理科教育JV(物理担当)が活動しているが、教員が不足している生物・化学を担当するボランティアの要請支援が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 生物もしくは化学(もしくはその両方)の通常授業を担当する。
- 生徒に対する試験対策・補習授業を実施する。
- 同僚と協力して教材・教具の工夫・改善に取り組む。
- 移動可能な範囲で周辺校も訪問し、現地教師の同教科の授業への協力や、理科実験等に関する支援・助言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

コンピュータ5台、プリンター3台、理科教材は特になし。

4) 配属先同僚及び活動対象者

学校長:50代、男性

理科教員:11名

生物3名(うち1名が校長)、化学3名、物理3名(うち1名が教頭)、数学と物理を兼任できる先生が(2名)の計11名(モザンビークでは生物・化学・数学・物理のセットで兼任することができる。)

教職員総数:52名、事務職:6名

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高等学校教諭（理科））

[学歴]：（大卒） 備考：当国教員として必須条件のため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～40℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】